

一般社団法人 **日本家族療法学会**  
**第40回 福岡大会**  
**大会プログラム**

大会テーマ

**家族療法のこれまでとこれから**  
**～かたる、こたえる、つなぐ～**



**2023 9/16 (土) 17 (日) 18 (祝)**  
(大会ワークショップ)





## 大会テーマ

# 家族療法のこれまでとこれから ～かたる、こたえる、つなぐ～

### —ご挨拶—

このたび、日本家族療法学会第40回福岡大会を2023年9月16日(土)、17日(日)及び18日(月・祝)の3日間、福岡国際会議場にて開催させていただくことになりました。

今回の大会は本学会が1984年に設立されて40年目という節目にあたります。この間、社会の著しい変動によって人々の生き方とその基盤となる家族の姿も大きく変容する中、種々のあらたな困難に直面しているご家族も少なくありません。これまで個人、家族および関係者へのより最適な支援方法を探ってきた家族療法ですが、それらを振り返りつつ、これから家族療法が果たすべき諸課題について展望すべき時が来たと感じています。

そこで、大会テーマを『家族療法のこれまでとこれから～かたる、こたえる、つなぐ～』とさせていただきます。特別講演には、家族社会学の第一人者である山田昌弘先生（中央大学/日本家族社会学会長）をお招きして変貌する日本の家族の姿をお示しいたします。もうお一人として、本学会副会長で、長年、本学会の国際交流に多大な貢献をして下さっている田村毅先生（高山村こころの診療所/アジア家族療法学会会長）に、特に、アジアにおける家族療法の交流の意義を語っていただきます。

学会企画シンポジウムとして6本用意しました。その内、2本は本学会と縁の深い「日本ブリーフサイコセラピー学会」及び「心理教育・家族教室ネットワーク」の2つの学会・団体との共同企画です。そして、これらも含めて、これからの家族療法を展望する企画を4本、さらに、本学会設立40周年のささやかな記念として、学会設立時にご活躍された先輩会員諸氏による座談セッションを企画しました。そして、大会3日目には、家族療法の基礎および家族面接の実際から、各領域での家族支援に活かせる理論と実践を学べるワークショップを8本用意しました。

本大会はCOVID-19の感染予防対策はしっかり行いつつ、参加者の皆さま方と直接お会いして語り合うことができるよう、全面的に対面で開催します。あわせて、メインプログラムの内、講演・学会企画シンポジウム及び座談セッションについては、大会終了後のオンデマンド配信を予定していますので、参加者の皆さま方にはできる限り多くのプログラムをご視聴いただけることと思います。

昨今の厳しい国際情勢、多発する自然災害さらに不幸な諸事件の中ではありますが、本大会が人々と家族そして社会の平和の実現のためにわずかでも寄与できることを願っています。あらゆる領域で人々と家族の支援に携わっておられる方々には奮ってご参加いただきますようお願いするとともに福岡の地でお会いできることを心待ちにしております。

一般社団法人 日本家族療法学会 第40回福岡大会  
大会長 児島達美 (KPCL)

# 目次

大会全日程	3
大会参加者へのご案内	4
発表者・登壇者の方々へのご案内	7
会場までのアクセス	8
各フロアのご案内	9
9月16日（土）タイムテーブル	10
9月17日（日）タイムテーブル	11
9月18日（祝）タイムテーブル	12
講演・学会企画シンポジウム・座談セッション	13
9月16日（土）一般演題	15
9月17日（日）午前 一般演題	16
9月17日（日）午後 一般演題	17
9月16日（土）17日（日）事例検討・スーパーヴィジョン	18
9月16日（土）17日（日） 自主シンポジウム	19
9月18日（祝） ワークショップ	21

（※ 本大会ホームページでもプログラム集をダウンロード・閲覧できますのでご参照ください）

<https://fukuoka2023.jaft.org/>

日本家族療法学会第40回福岡大会HP



# 大会全日程

一般社団法人 日本家族療法学会 第40回 福岡大会 スケジュール

9月16日(土)			9月17日(日)			9月18日
8:15から受付開始			8:30から受付開始			9:30から 受付開始
9:00-9:10 開会式						
9:10-10:10 【大会長講演】 「家族療法をもっと身近なものにするために」 (児島達美)			9:10-10:10 【特別講演】 「家族療法と国際交流、この40年とこれから」 (田村毅)		9:10-12:30	10:00-12:00
10:20-12:20 【学会企画シンポ】 「「チーム」や「連携」が自律的・機能的となるための支援」	10:20-12:30 【一般演題】	10:50-12:20 【自主シンポ】	10:20-12:20 【学会企画シンポ】 「家族療法・ブリーフセラピーにおける”ことばと会話”」	10:20-12:30 【一般演題】 【事例検討】	【スーパー ヴィジョン】 【自主シンポ】	【ワーク ショップ】
12:30-13:30 昼休み			12:30-13:30 昼休み			12:00-13:00 昼休み
13:30-14:30 【特別講演】 「人生100年時代の家族の形」 (山田昌弘)			13:30-15:30 【学会企画シンポ】 「家族療法モデルによるスーパーヴィジョンが目指すもの」	13:30-15:40 【一般演題】 【事例検討】	13:30-17:10	13:00-16:00
14:40-16:10 【学会企画シンポ】 「赤ちゃん和家人」	14:40-16:10 【学会企画シンポ】 「家族心理教育の現在地」	14:40-18:00 【一般演題】 【スーパー ヴィジョン】 【事例検討】	15:40-17:10 【学会企画シンポ】 「法制度と家族支援」		【自主シンポ】 【事例検討】	【ワーク ショップ】
16:20-17:50 【座談セッション】 「日本に家族療法が登場してきた時」			17:20から 閉会式			
18:30から 【交流会(福岡サンパレスホテル・パレスルーム)】						

# 大会参加者へのご案内

## ①受付

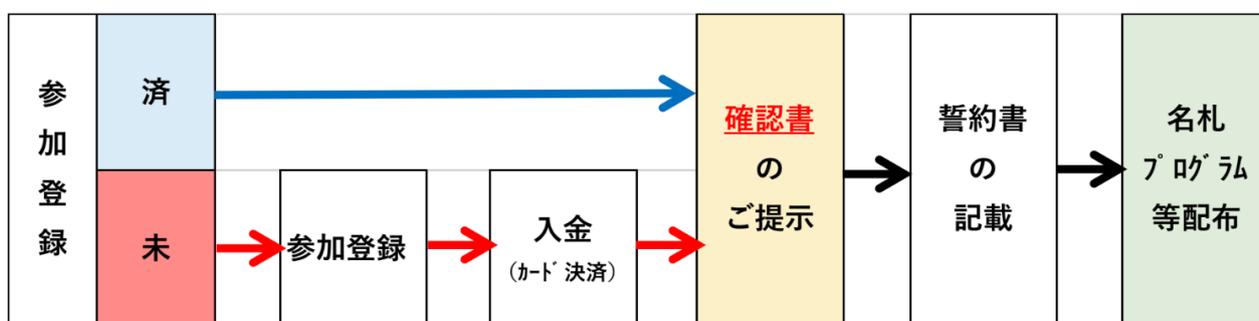
日程	場所	受付時間
9月16日（土）	大会受付（5階）※1)	受付開始8:15から
9月17日（日）		受付開始8:30から
9月18日（祝）	ワークショップ受付、あるいは各ワークショップ会場※2)	受付開始9:30から

※1) 9/16（土）・17（日）の大会受付は5階（エスカレーター近く）です。

※2) 9/18（祝）ワークショップのみ参加の方は、5階「ワークショップ受付」で参加登録が必要です。大会にもご参加いただき、受付・誓約書提出がお済みの方は直接各ワークショップ会場へお越しください（12ページ・21ページ参照）。

大会受付・ワークショップ受付ともに以下の流れで実施します。

「**確認書**」については②をご確認ください（受付で**確認書**のご提示があります）。



## ②確認書（大会参加・交流会・お弁当・ワークショップ登録確認書）の表示方法

「確認書」は大会及びワークショップ受付の際にご提示してもらいます。「大会ホームページ→参加申込フォーム→マイページへログイン→確認書の表示」にて表示できます。

※大会ホームページ・マイページログイン <https://amarys-jtb.jp/jaft40/>



↑  
マイページから  
ログインを  
してください  
「現在の申込状況」  
から  
「確認書」ボタンへ

マイページから「確認書」をクリックすると以下の「確認書」が表示されます。以下の「確認書の2枚目」を印刷して受付までご持参ください。あるいはスマートフォン・タブレット端末にて以下の確認書をご提示ください。スクリーンショットでも可能です。

(確認書の2枚目に参加内容の詳細が載っているため2枚目のご提示をお願いしています)

確認書の1枚目

確認書の2枚目

品名	単価	数量	金額
2023/08/17 申込料別【会員】大会参加のみ	¥9,000	1	¥9,000
2023/08/17 交流会 欠席		1	
2023/08/17 ワークショップ 欠席		1	
2023/08/17 お弁当【9/16土】申し込み		1	
2023/08/17 お弁当【9/17日】申し込み		1	
2023/08/17 お弁当【9/16日-祝】申し込み		1	
小計			¥9,000
申込合計			¥9,000
入金決済			¥9,000
差額			¥0

### ③参加費

		学会員	非会員	学生（修士院生も）
学術大会	当日	10,000円	11,000円	6,000円
ワークショップ	当日	9,000円	10,000円	6,000円

※ お支払いは「クレジットカード決済のみ」です。ご理解ください。

### ④誓約書について

受付に「確認書」をご提示した後、誓約書ご記入いただきご提出してまいります。

### ⑤クローク

5階エスカレーター裏側のスペースにあります。9月16日（8:30-18:30）、17日（8:30-18:00）、18日（9:30-16:30）の予定です。引き取りは時間厳守でお願いします。交流会ご参加の方のクロークは交流会会場にて用意しております。

### ⑥交流会

日時は9月16日18時30分、場所は【福岡サンパレスホテル（パレスルーム）：大会会場から2階の連絡通路で繋がっています】です。当日の申込は受け付けていません（予約者のみ）。

### ⑦会務報告会（家族療法学会 学会員対象）

9月17日（日）12:40より4階「414室」にて開催します（非会員の方は参加できません）。

## ⑧書籍販売と「第40回福岡大会抄録号」について

大会会場（5階）には書籍の販売コーナーを設けています。お気軽にお立ち寄りください。本大会の「抄録号」について、会員は大会前に発送します。非会員は金剛出版の販売コーナーにてご購入ください。以下のURL（QRコード）からも購入できます。<https://www.kongoshuppan.co.jp/book/b632689.html>



## ⑨飲食・休憩

弁当を（8月31日迄に）予約した方は、受付で配布する「引換券」を提示し、弁当（お茶付き）を弁当受取（書籍コーナー辺り）で受け取って下さい。飲食と休憩のために4階の402室と403室（9月16日・17日）を開放しています。お弁当がら以外のゴミは各自で持ち帰って下さい。なお、会場の隣にある福岡サンパレスホテルにレストラン、国際会議場の1階にカフェがありますので自由にご利用ください。コンビニの場所は8ページの周辺地図に載せています。

## ⑩Wi-Fi について

福岡国際会議場内にて無料Wi-Fiが使用できます。

＜利用方法＞ Wi-Fi 対応端末（スマートフォン、タブレット、PC）のWi-Fi機能を有効にします。接続可能なSSID一覧より「FCC\_Free\_WiFi」を選択します。ブラウザを立ち上げると、ご利用者様向けトップ画面が表示されます。利用規約に同意いただけましたら接続されます。

## ⑪（社）日本精神神経学会の精神科専門資格の更新単位取得について

当学会では（社）日本精神神経学会精神科専門医制度のB群【学会単位・機構単位（精神科領域講習）】として【3単位】の単位取得予定です。総合受付にてお名前、ご所属、会員番号をお知らせください。（参考URL <https://www.jspn.or.jp/modules/evtCal/>）

## ⑫臨床心理士資格の更新ポイントについて

学術大会（2日間）、ワークショップ（1日）に参加することで、臨床心理士の資格更新のための研修ポイントをそれぞれ2ポイント取得できます。オンデマンド配信の参加では1ポイント取得です。

## ⑬領収書について

発行期間は9月19日から10月31日で大会ホームページのマイページ上（QRコード）で発行可能です。名札の裏にも発行方法を記載しております。



## ⑭感染症対策に関するお願い

発熱、風邪の症状がある方は参加をお控えくださいますようお願い致します。場合により参加をお断りすることがございますので、予めご了承ください。

## ⑮オンデマンド配信のご案内

本大会では、「講演」「学会企画シンポジウム」「座談セッション」について録画いたします。オンデマンド配信（見逃し配信）は、大会ホームページで2023年10月1日から10月31日の期間配信予定です。年次大会に申し込みをされた方、ならびに2023年9月9日（土）までにオンデマンド配信視聴の申込をされた方、全員に視聴方法をメールでお知らせします。

# 発表者・登壇者の方々へのご案内

## ①発表スライド資料

パワーポイントなどのスライド資料は、9月15日（金）までに、<https://live.fhs.fukuoka.jp/jaft2023-data/>にてデータをアップロードしてください。



## ②配布資料

資料を配布する場合には、ご自身で必要部数を用意し、当日会場スタッフにお渡しください。また資料には、発表日・発表形式・発表タイトル・発表氏名をご記入ください。なお、大会スタッフは資料のコピーには対応しかねますので、予めご了承ください。

## ③一般演題の発表者、および座長へのご案内

**発表15分、質疑応答10分を目安**とします。以下の要領でベルを鳴らしますので、発表時間を厳守して下さい。**（・1鈴：発表終了3分前 ・2鈴：発表終了）**

発表取り消しがあっても、発表時間の繰り上げは行いません。

### 【発表欠席と代理発表】

各演題の筆頭記載者が発表者です。発表者が欠席した場合は、発表取り消しとみなします。ただし、大会本部の承認を得て共同発表者は代理発表をすることが出来ません。代理発表を希望する場合は、会期前は大会事務局（[fukuoka2023@jaft.org](mailto:fukuoka2023@jaft.org)）までメールにてご連絡をお願いします（QRコード参照）。



## ④事例検討の発表者、および座長へのご案内

事例の**発表時間は30分から40分、質疑応答は15分から25分を目安**とします。進行は座長に一任します。時間厳守でお願い致します。

## ⑤スーパーヴィジョンの発表者、およびスーパーヴァイザーへのご案内

時間は90分です。進行や方法はスーパーヴァイザーに一任します。時間厳守でお願い致します。

## ⑥自主シンポジウムの企画者へのご案内

時間は90分です。内容の構成などは企画者に一任します。時間厳守でお願い致します。会場設営、および片付けは、各企画者で行なってください。ただし、パソコン・プロジェクター・スクリーンは無料にて貸し出し致します。

## ⑦COIに関する提示

全てのセッションの発表時に開示が必要になります。全ての筆頭発表者は利益相反状態について、発表スライドの1枚目または2枚目（タイトルスライドの前または後）に規定のCOIスライドのいずれか該当する方を開示して下さい（こちらを参照 <https://fukuoka2023.jaft.org/application/>）。なお、発表時に口頭での説明をする必要はありません。

# 会場までのアクセス

## バスでお越しの方



## 路線バスのご案内

### 国際会議場サンパレス前 天神方面 (土曜日)

行先	天神方面	天神方面	粕原営業所	粕原営業所
経由	天神(快速)	(快速)	天神	天神
行先番号	BRT	BRT	151	152
運賃	190円	190円	190円	190円
6				
7			05 36	20 50
8		51		16 56
9		06 21 36 51	28	56
10		06 21 36 51	49	
11		06 21 36 50	32	
12		05 20 35 50		33
13		05 20 35 50	26	59
14		05 20 35 50	59	
15		05 20 35 48		35 55
16		03 18 33 48	01	
17		03 18 33 53	25	
18		13 33 56	45	
19	13 43			37
20	13		22	
21				
22			07	

### 国際会議場サンパレス前 博多駅方面 (土曜日)

行先	博多駅方面	粕原	倉敷営業所	西園田団地	新井川営業所	粕原営業所
経由	博多駅 呉服町(快速)	博多駅 高田町 六本松 粕原(普通)				
行先番号	BRT	11	19	19	47	50
運賃	240円	240円	240円	240円	240円	240円
6						
7		34 51				
8	35 50	21		55		34
9	01 16 31 46	21	20			56
10	01 16 31 46	06 56		45		
11	01 16 31 46 57	36	45			02 22
12	12 27 42 57	14		43		04 53
13	12 27 42 57	04		43		53
14	12 27 42 57	04 44		43		47
15	12 27 42 53	34		43		50
16	08 23 38 53	04	43			12
17	08 23 43	04				29 57
18	03 23 52	09	13	43		32
19	12 30 45	00 50	44			01
20	16		34	04	05	11
21						15
22						

### 石城町 天神・福岡タワー方面 (土曜日)

行先	天神方面	天神方面	福岡タワー(TNC移送会場)	福岡タワー(TNC移送会場)
経由	天神 石城町(普通)	天神 石城町(普通)	天神 石城町(普通)	天神 石城町(普通)
行先番号	4・21	20	4	20
運賃	190円	190円	190~240円	190~240円
6	18 23	33		49
7	03 18	25	43	09 47
8	11 40 50	33	20	13 47
9	30 50	13 43	20	28 58
10	50	13 43	20	28
11	31 45	43	25	03 23 58
12	48 51	14 44	21	34
13	41 56	14 44	21	30
14	56	14 44	21	01 31 59
15	01 52 56	14 49	21	34
16	16 46	14 44	41	29 59
17	06	16 44	21 51	29 59
18	00 21 41		59	32
19	24 41		59	01 27 57
20	29 41			47
21	20 59		13	41
22	23			31
23				

# 各フロアのご案内

## 5階 501・502・503



### 501 (国際会議室)

- 大会長講演
- 特別講演
- 学会企画シンポジウム

### 502・503 (中会議室)

- 一般演題
- 学会企画シンポジウム (502のみ)

### 504・505 (小会議室)

- 大会本部

### ロビー

- 大会・ワークショップ受付
- 総合受付・弁当受取
- 書籍コーナー
- クローク

### 控室5A・5B

- 講師控室



## 4階 401-406・410-414



### 411-413 (中会議室)

- スーパーヴィジョン
- 事例検討
- 自主シンポジウム
- ワークショップ (9月18日)

### 401-406 (小会議室)

- ワークショップ (9月18日)

### 402・403 (小会議室)

- 食事・休憩室 (9月16日-17日)

### 414 (中会議室)

- 会務報告会 (9月17日12:40~)

### 410 (中会議室)

- 講師控室 (9月18日)

# 9月16日(土) タイムテーブル

9月16日(土曜:1日目)						
	501室	502室	503室	411室	412室	413室
9:00	開会式					
9:10	9:10-10:10 〈大会長講演〉 「家族療法をもっと身近なものにするために」 【講師】児島達美					
10:20	10:20-12:20 【学会企画シンポジウム②】 「『チーム』や『連携』が自律的・機能的となるための支援」 ～システムズアプローチの観点から～ 【シンポジスト】 浅野久木 高林学 児玉久仁子 【兼・指定討論】 吉川悟 【座長】 中野真也	10:20-10:50 (P19)一人娘の老親介護 (渡邊優江)  10:50-11:20 (P21)釈放前の若年男性受刑者が語る家族関係 (下郷大輔)	10:20-10:50 (P5)親の紛争を経験する子どものインタビュー調査 (小田切紀子)  10:50-11:20 (P10)小学校で担任がシステムズ・アプローチを活用することの経験的効用の検討 (永野沙保)			
10:50				10:50-12:20 【自主シンポジウム】 (V12)ひきこもり支援と家族療法 (金城理枝ほか)	10:50-12:20 【自主シンポジウム】 (V2)グループスーパービジョンの経験 (石田匡宏ほか)	10:50-12:20 【自主シンポジウム】 (V5)性的嗜癖行動と家族へのアプローチ (井上澧太ほか)
11:30		11:30-12:00 (P1)個人面接逐語録を含む診療情報の開示・共有とその効果 (石橋健一)  12:00-12:30 (P25)児童の入所する施設を対象システムとした介入について (遠藤朋子)	11:30-12:00 (P12)公認心理師・臨床心理士養成大学院における「人としてのセラピスト養成モデル」の試行的実施 (福井里江)  12:00-12:30 (P23)社会的孤立支援における関係者支援の基礎研究 (廣橋諒一)			
12:30	昼休み(12:30-13:30)					
13:30	13:30-14:30 〈特別講演①〉 「人生100年時代の家族のかたち」 【講師】山田昌弘					
14:40	14:40-16:10 【学会企画シンポジウム⑥】 「赤ちゃんと家族～周産期医療の進歩による光と影～」 【シンポジスト】 後藤清恵 近藤達郎 宮田郁 【座長】 上別府圭子	14:40-16:10 【学会企画シンポジウム④】 「家族心理教育の現在地～精神疾患という経験をどう理解し、どう支援するか？」 【シンポジスト】 伊藤順一郎 岡田久実子 渡邊真里子 【指定討論】 福井里江 【座長】 後藤雅博 皿田洋子	14:40-15:10 (P7)生きづらさを語るクライアントのストーリーが再著述された事例 (藤森圭子)  15:10-15:40 (P13)コ・リサーチとしてのポスト・セラピー・インタビューはいかなるエビデンスとプラクティスの地平を拓くリフレクティング・プロセスか (矢原隆行)	14:40-16:10 【スーパービジョン】 (S1)TATとジェノグラムから家族関係を振り返る (渡部千世子)	14:40-15:40 【事例検討】 (K1)抛り所にしていたリソースを失う事態が生じた事例への対応 (岩田尚大)	14:40-16:10 【自主シンポジウム】 (V9)養護教諭とスクールカウンセラーの効果的な連携・協働について考える (岩崎和子ほか)
15:50			15:50-16:20 (P11)間接的アセスメントに関する研究 (赤津玲子)		15:50-16:50 【事例検討】 (K3)在外教育施設におけるスクールカウンセラーによる不登校児童生徒の支援について (司馬田端)	
16:20	16:20-17:50 【座談セッション】 「日本に家族療法が登場してきた時」 野村直樹 遊佐安一郎 洪沢田鶴子 福山和女 【座長】 檜林理一郎 中村伸一		16:20-16:50 (P2)摂食障害の家族ピアサポートの試み (小原千郷)	16:20-17:50 【スーパービジョン】 (S2)離婚から事実婚を経て関係を再構築した夫婦の一事例 (藪垣将)	17:00-18:00 【事例検討】 (K2)母子合同面接において子どもの自立が進んだ事例 (佐藤大海)	16:20-17:50 【自主シンポジウム】 (V4)発達障害児・者と家族への支援の可能性 (中野真也ほか)
17:00						
18:30から【交流会(福岡サンパレスホテル・パレスルーム)】						

# 9月17日(日) タイムテーブル

9月17日(日曜:2日目)						
	501室	502室	503室	411室	412室	413室
9:10	9:10-10:10 〈特別講演②〉 「家族療法と国際交流、この40年とこれから」 【講師】田村毅			9:10-10:40 【スーパーバージョン】 (S3)衝突を繰り返す同性カップルの同席面接  (大平厚)		9:10-10:40 【自主シンポジウム】 (V8)「人としてのセラピスト養成モデル(Person of the therapist (POTT) training model)」が日本のセラピスト養成に何をもたらすのか (福井里江ほか)
10:20	10:20-12:20 【学会企画シンポジウム①】  「家族療法・ブリーフセラピーにおける“ことばと会話”」  【シンポジスト】 津川秀夫 黒沢幸子 坂本真佐哉 齋藤環 【座長】 市橋香代 田中究	10:20-10:50 (P8) 娘を問題視する母親に対して、親子の一連の相互作用を尋ねることで母子システムが変化した一例 (山内滉基)	10:20-10:50 (P24) 非加害親を含めた家族システムで虐待対応を組み立てる (高林学)		10:20-11:20 【事例検討】 (K4)父のうつから不登校の子どもの対応へ移行した事例  (志田望)	
10:50		10:50-11:20 (P17) 受診行動に対してシステムズアプローチの観点から介入を試みた事例についての一考察 (木村愛梨)	10:50-11:30 (P4) IPが発した「労苦を共に」という言葉の意味 (浦口美穂)	10:50-12:20 【スーパーバージョン】 (S4)不登校により留年間際の女子高校生と母親の面接  (田上貢)		10:50-12:20 【自主シンポジウム】 (V3)PTMF(パワー・脅威、意味のフレームワーク)  (白木孝二ほか)
11:30		11:30-12:00 (P18) 心理面接における話題設定及び場面設定についての一考察 (今峰大樹)	11:30-12:00 (P14) 学校不応について母子間の相互作用に着目した一事例 (久保見篤)		11:30-12:30 【事例検討】 (K6)同棲中の彼氏を尊重したい女性の事例  (田中智之)	
12:00		12:00-12:30 (P26) 家族が建設的に話し合えるようになるまでの経過 (林正賢)	12:00-12:30 (P20) 子供の登校渋りを主訴に来談した母親との面接過程 (山元彩美)			
12:30	昼休み(12:30-13:30)			会務報告会(414室12:40-13:20)		
13:30	13:30-15:30 【学会企画シンポジウム③】  「家族療法モデルによるスーパーバージョンを目指すもの」  【シンポジスト】 石井千賀子 小笠原知子 中野真也 【指定討論】 中村伸一 【座長】 村上雅彦 北島歩美	13:30-14:00 (P3) 解決志向ブリーフセラピーで「診断」を治療に用いる (宋大光)	13:30-14:00 (P6) 教育現場でのオープンダイアログの実践 (八巻秀)	13:30-15:00 【自主シンポジウム】 (V1)学校教員と児童精神医師との連携  (小笹祥子ほか)	13:30-15:00 【自主シンポジウム】 (V7)緩和ケア病棟のナラティブ的変容-家族の変容から病棟全体への変容へ  (田代 順ほか)	13:30-15:00 【自主シンポジウム】 (V10)困難を抱える子どもと家族を地域で支えるラップアラウンドの実装に向けて  (久保樹里ほか)
14:40		14:00-14:30 (P22) 社会的繋がりが希薄な患者への心理支援 (本田昂陽)	14:00-14:30 (P16) スクールカウンセラーという役割を持つ「前提」を使うことについての一考察 (小村美沙紀)			
		14:40-15:10 (P9) 応用行動分析に基づいた療育を通して母子システムへ介入した一症例 (藤枝周平)				
		15:10-15:40 (P15) 医療現場の支援者への支援 (寺田日向子)				
15:40	15:40-17:10 【学会企画シンポジウム⑤】  法制度と家族支援～被害者と加害者の狭間で 【シンポジスト】 廣井亮一 久保健二 中田慶子 【指定討論】 国重浩一 【座長】 半澤利一			15:40-17:10 【自主シンポジウム】 (V6)学校はブラックな職場なのか?  (高橋候補ほか)	15:40-16:40 【事例検討】 (K5)複数面接における例外的な話題を用いた変化の土台作りと直面化  (伊東秀章)	15:40-17:10 【自主シンポジウム】 (V11)家族療法の多様な学びと臨床家としてのナラティブ  (浅井伸彦ほか)
17:20	閉会式					

# 9月18日（祝）タイムテーブル

受付開始 9 : 3 0 から

ワークショップのみご参加の方、ワークショップのご入金がお済みでない方は、

まず5階の「ワークショップ受付」へお越してください！

誓約書の記入・名札・プログラム配布などの諸手続きがございます。

	402+ 403室	411室	502室	405+ 406室	401室	412室	503室	404室
10:00~  12:00 昼休み 13:00          16:00	<p>【WS①】 家族療法 入門  東豊</p>	<p>【WS②】 ロールプ レイによ る家族面 接演習  中村伸一 ほか</p>	<p>【WS③】 保護者支 援と教職 員支援の 実践的 演習  システム ズ・コン サルテー ションを 身につけ る  吉川悟</p>	<p>【WS④】 うまくい かなく なった 二人に取 り組む ナラティ ヴ・アプ ローチ  国重浩一</p>	<p>【WS⑤】 BPSモデ ルの ケースマ ネジメン ト  近藤直司</p>	<p>【WS⑥】 ソーシャ ルワーク と 家族療法  福山和女</p>	<p>【WS⑦】 児童虐待 対応  家族療法 を応用す ると 何が起き るのか  中垣真通 ほか</p>	<p>【WS⑧】 在宅医療 における 家族支援  若林英樹 ほか</p>

# 講演・学会企画シンポジウム・座談セッション

(それぞれ発表開始順で並べています)

## <大会長講演>

### 「家族療法をもっと身近なものにするために」

【講師】 児島達美 (家族療法学会第40回福岡大会大会長/学会長)

【座長】 渡辺俊之 (渡辺医院/高崎西口精神療法研修室)

日時：9月16日(土) 9:10-10:10

501室

## <特別講演①>

### 「人生100年時代の家族のかたち」

【講師】 山田昌弘 (日本家族社会学会長/中央大学教授)

【座長】 児島達美 (家族療法学会第40回福岡大会大会長/学会長)

日時：9月16日(土) 13:30-14:30

501室

## <特別講演②>

### 「家族療法と国際交流、この40年とこれから」

【講師】 田村毅 (高山村こころの診療所/AAFT:アジア家族療法学会長/  
本学会副会長)

【座長】 中村伸一 (中村心理療法研究室)

日時：9月17日(日) 9:10-10:10

501室

## <学会企画シンポジウム②>

### 「『チーム』や『連携』が自律的・機能的となるための支援 -システムズアプローチの観点から-」

【シンポジスト】 浅野久木 (刈谷病院) 高林学 (龍谷大学)  
児玉久仁子 (東京慈恵会医科大学)

【シンポジスト・指定討論】 吉川悟 (龍谷大学)

【座長】 中野真也 (国際医療福祉大学)

日時：9月16日(土) 10:20-12:20

501室

## <学会企画シンポジウム⑥>

### 「赤ちゃんと家族一周産期医療の進歩による光と影」

【シンポジスト】 後藤清恵 (国立病院機構新潟病院臨床研究部)

近藤達郎 (みさかえの園総合発達医療福祉センターむつみの家)

宮田郁 (大阪医科薬科大学病院看護部)

【座長】 上別府圭子 (国際医療福祉大学大学院家族看護領域)

日時：9月16日(土) 14:40-16:10

501室

<学会企画シンポジウム④>

**「家族心理教育の現在地—精神疾患という経験をどう理解し、どう支援するか?—」**

【シンポジスト】伊藤順一郎（メンタルヘルス診療所しっぽふぁーれ）

岡田久実子（みんなネット）

渡邊真里子（ちはやACTクリニック）

502室

【指定討論】福井里江（東京学芸大学）

【座長】後藤雅博（こころのクリニックウイズ）

皿田洋子（六本松心理教育臨床オフィス）

日時：9月16日（土）14：40—16：10

<学会企画シンポジウム①>

**「家族療法・ブリーフセラピーにおける“ことばと会話”」**

【シンポジスト】津川秀夫（吉備国際大学）

黒沢幸子（目白大学/KIDSカウンセリング・システム）

坂本真佐哉（神戸松蔭女子学院大学） 斎藤環（筑波大学）

【座長】市橋香代（東京大学） 田中究（関内カウンセリングオフィス）

日時：9月17日（日）10：20—12：20

501室

<学会企画シンポジウム③>

**「家族療法モデルによるスーパーヴィジョンが目指すもの」**

【シンポジスト】石井千賀子（石井家族療法研究室）

小笠原知子（金沢大学） 中野真也（国際医療福祉大学）

【指定討論】中村伸一（中村心理療法研究室）

【座長】村上雅彦（広島ファミリールーム） 北島歩美（日本女子大学）

日時：9月17日（日）13：30—15：30

501室

<学会企画シンポジウム⑤>

**「法制度と家族支援—被害者と加害者の狭間で—」**

【シンポジスト】廣井亮一（立命館大学）

久保健二（福岡市立子ども総合相談センター）

中田慶子（DV防止ながさき）

【指定討論】国重浩一（ナラティブ実践協働研究センター）

【座長】半澤利一（東北福祉大学）

日時：9月17日（日）15：40—17：10

501室

<座談セッション>

**「日本に家族療法が登場した時」**

【登壇者】野村直樹（名古屋市立大学） 遊佐安一郎（長谷川メンタルヘルス研究所）

渋谷田鶴子（麻生ウエルネス） 福山和女（ルーテル学院大学）

【座長】梶林理一郎（湖南クリニック） 中村伸一（中村心理療法研究室）

日時：9月16日（土）16：20—17：50

501室

## 9月16日(土) 一般演題

### ① (P19) 一人娘の老親介護 ―トラウマの再燃と戦い―

日時：9月16日(土) 10:20-10:50

＜発表者＞渡邊優江(群馬病院) ＜座長＞半澤利一(東北福祉大学 総合福祉学部)

502室

### ② (P21) 釈放前の若年男性受刑者が語る家族関係

日時：9月16日(土) 10:50-11:20

＜発表者＞下郷大輔(作新学院大学) ＜座長＞半澤利一(東北福祉大学 総合福祉学部)

### ③ (P5) 親の紛争を経験する子どものインタビュー調査

―海外の子どもインタビュー調査手法を援用したパイロットスタディー―

日時：9月16日(土) 10:20-10:50

＜発表者＞小田切紀子(東京国際大学) ＜座長＞植村太郎(神戸労災病院精神科)

503室

### ④ (P10) 小学校で担任がシステムズ・アプローチを活用することの経験的効用の検討

日時：9月16日(土) 10:50-11:20

＜発表者＞永野沙保(社会福祉法人 のぞみの家) ＜座長＞植村太郎(神戸労災病院精神科)

### ⑤ (P1) 個人面接逐語録を含む診療情報の開示・共有とその効果

日時：9月16日(土) 11:30-12:00

＜発表者＞石橋健一(府中みくまり病院) ＜座長＞大森美湖(東京学芸大学)

502室

### ⑥ (P25) 児童の入所する施設を対象システムとした介入について

日時：9月16日(土) 12:00-12:30

＜発表者＞遠藤朋子(徳島県中央こども女性相談センター) ＜座長＞大森美湖(東京学芸大学)

### ⑦ (P12) 公認心理師・臨床心理士養成大学院における

「人としてのセラピスト養成モデル(Person of the therapist (POTT) training model)」の試行的実施

日時：9月16日(土) 11:30-12:00

＜発表者＞福井里江(東京学芸大学教育心理学講座) ＜座長＞長沼葉月(東京都立大学)

503室

### ⑧ (P23) 社会的孤立支援における関係者支援の基礎研究

―間接的なアセスメントのトレーニングを通じて―

日時：9月16日(土) 12:00-12:30

＜発表者＞廣橋諒一(龍谷大学心理学部) ＜座長＞長沼葉月(東京都立大学)

### ⑨ (P7) 生きづらさを語るクライアントのストーリーが再著述された事例

日時：9月16日(土) 14:40-15:10

＜発表者＞藤森圭子(龍谷大学大学院博士後期課程) ＜座長＞安達映子(東京都立大学)

503室

### ⑩ (P13) コ・リサーチとしてのポスト・セラピー・インタビューは

いかなるエビデンスとプラクティスの地平を拓くリフレクティング・プロセスか

日時：9月16日(土) 15:10-15:40

＜発表者＞矢原隆行(熊本大学大学院人文社会科学部) ＜座長＞安達映子(東京都立大学)

### ⑪ (P11) 間接的アセスメントに関する研究

―不登校・ひきこもり等の保護者面接について―

日時：9月16日(土) 15:50-16:20

＜発表者＞赤津玲子(龍谷大学) ＜座長＞斎藤環(筑波大学医学医療系社会精神保健学)

503室

### ⑫ (P2) 摂食障害の家族ピアサポートの試み

―ピアサポーターは何を経験したのか―

日時：9月16日(土) 16:20-16:50

＜発表者＞小原千郷(文教大学人間科部) ＜座長＞斎藤環(筑波大学医学医療系社会精神保健学)

## 9月17日（日）午前 一般演題

- ⑬ (P8) 娘を問題視する母親に対して、親子の一連の相互作用を  
尋ねることで母子システムが変化した一例

502室

日時：9月17日（日）10：20－10：50

＜発表者＞山内滉基（宋こどものこころ醫院）＜座長＞岡本吉生（日本女子大学）

- ⑭ (P17) 受診行動に対してシステムズアプローチの観点から  
介入を試みた事例についての一考察

日時：9月17日（日）10：50－11：20

＜発表者＞木村愛梨（千春会病院/龍谷大学大学院文学研究科）＜座長＞岡本吉生（日本女子大学）

- ⑮ (P24) 非加害親を含めた家族システムで虐待対応を組み立てる  
－加害親と非加害親が逆転した事例－

503室

日時：9月17日（日）10：20－10：50

＜発表者＞高林学（龍谷大学）＜座長＞金丸愼美（広島ファミリールーム）

- ⑯ (P4) IPが発した「労苦を共に」という言葉の意味  
－ジェノグラムとスーパーヴィジョンの効用－

日時：9月17日（日）10：50－11：20

＜発表者＞浦口美穂（昭和大学附属烏山病院）＜座長＞金丸愼美（広島ファミリールーム）

- ⑰ (P18) 心理面接における話題設定及び場面設定についての一考察  
－治療システムの変容に着目して－

502室

日時：9月17日（日）11：30－12：00

＜発表者＞今峰大樹（龍谷大学大学院/まちだクリニック）＜座長＞若林英樹（三重大学総合診療部）

- ⑱ (P26) IPが発した「労苦を共に」という言葉の意味  
－ジェノグラムとスーパーヴィジョンの効用－

日時：9月17日（日）12：00－12：30

＜発表者＞浦口美穂（昭和大学附属烏山病院）＜座長＞若林英樹（三重大学総合診療部）

- ⑲ (P14) 学校不適應について母子間の相互作用に着目した一事例

日時：9月17日（日）11：30－12：00

＜発表者＞久保見篤（大阪市スクールカウンセラー）

＜座長＞唐津尚子（北浜心理臨床オフィス）

503室

- ⑳ (P20) 子供の登校渋りを主訴に来談した母親との面接過程

日時：9月17日（日）12：00－12：30

＜発表者＞山元彩美（龍谷大学大学院博士課程）＜座長＞唐津尚子（北浜心理臨床オフィス）

## 9月17日（日）午後 一般演題

⑳ (P3) 解決志向ブリーフセラピーで「診断」を治療に用いる  
ーADHDの成人女性の症例を通してー

502室

日時：9月17日（日）13：30ー14：00

＜発表者＞宋大光（宋こどものこころ醫院）＜座長＞阿部幸弘（こころのリカバリー総合支援センター）

㉑ (P22) 社会的繋がりが希薄な患者への心理支援

日時：9月17日（日）14：00ー14：30

＜発表者＞本田昂陽（千春会病院）＜座長＞阿部幸弘（こころのリカバリー総合支援センター）

㉒ (P6) 教育現場でのオープンダイアログの実践

ーオープンダイアログにおける「愛」の瞬間と共同体感覚ー

503室

日時：9月17日（日）13：30ー14：00

＜発表者＞八巻秀（駒澤大学/SYプラクティス）＜座長＞木場律志（甲南女子大学）

㉓ (P16) スクールカウンセラーという役割が持つ「前提」を使うことについての一考察

日時：9月17日（日）14：00ー14：30

＜発表者＞小材美沙紀（よやすクリニック）＜座長＞木場律志（甲南女子大学）

㉔ (P9) 応用行動分析に基づいた療育を通して母子システムへ  
介入した一症例

502室

日時：9月17日（日）14：40ー15：10

＜発表者＞藤枝 周平（宋こどものこころ醫院）＜座長＞市橋香代（東京大学医学部附属病院）

㉕ (P15) 医療現場の支援者への支援

ー医療行為を拒否する患者対応の可能性ー

日時：9月17日（日）15：10ー15：40

＜発表者＞寺田日向子（千春会病院）＜座長＞市橋香代（東京大学医学部附属病院）

# 9月16日（土）17日（日）事例検討・スーパーヴィジョン

## 事例検討

### ① (K1) 抛り所にしていたリソースを失う事態が生じた事例への対応

412室

日時：9月16日（土）14：40－15：40

＜発表者＞岩田尚大（宋こどものこころ醫院）＜座長＞小笠原知子（金沢大学）

### ② (K3) 在外教育施設におけるスクールカウンセラーによる 不登校児童生徒の支援について

日時：9月16日（土）15：50－16：50

＜発表者＞司馬田端（九州大学大学院人間環境学府）＜座長＞坂本真佐哉（神戸松蔭女子学院大学）

### ③ (K2) 母子合同面接において子どもの自立が進んだ事例 －相互に「わかる」ことによる境界形成－

日時：9月16日（土）17：00－18：00

＜発表者＞佐藤大海（専修大学）＜座長＞赤津玲子（龍谷大学）

### ④ (K4) 父のうつから不登校の子どもの対応へ移行した事例

日時：9月17日（日）10：20－11：20

＜発表者＞志田望（龍谷大学心理学部）＜座長＞北島歩美（日本女子大学）

412室

### ⑤ (K6) 同棲中の彼氏を尊重したい女性の事例

日時：9月17日（日）11：30－12：30

＜発表者＞田中智之（堺女子短期大学）＜座長＞中野真也（国際医療福祉大学）

### ⑥ (K5) 複数面接における例外的な話題を用いた変化の土台作りと直面化

日時：9月17日（日）15：40－16：40

＜発表者＞伊東秀章（龍谷大学心理学部）＜座長＞藪垣将（藪垣心理療法研究室）

## スーパーヴィジョン

### ① (S1) T A Tとジェノグラムから家族関係を振り返る

#### －家族の介護と自身の方向性の中で葛藤する青年の事例から－

日時：9月16日（土）14：40－16：10

＜発表者＞渡部千世子（鈴鹿医療科学大学保健衛生学部）

＜スーパーヴァイザー＞田中究（関内カウンセリングオフィス）

411室

### ② (S2) 離婚から事実婚を経て関係を再構築した夫婦の一事例

#### －家族の秘密の取り扱い－

日時：9月16日（土）16：20－17：50

＜発表者＞藪垣将（藪垣心理療法研究室）

＜スーパーヴァイザー＞阪幸江（こころとからだのつながり相談室みらい）

### ③ (S3) 衝突を繰り返す同性カップルの同席面接

日時：9月17日（日）9：10－10：40

＜発表者＞大平厚（カウンセリングルームIRIS）

＜スーパーヴァイザー＞村上雅彦（広島ファミリールーム）

411室

### ④ (S4) 不登校により留年間際の女子高校生と母親の面接

#### －目の前の相互作用をどのように変化させるか－

日時：9月17日（日）10：50－12：20

＜発表者＞田上貢（龍谷大学大学院文学研究科臨床心理学専攻研究生）

＜スーパーヴァイザー＞中村伸一（中村心理療法研究室）

# 9月16日(土) 17日(日) 自主シンポジウム

## ① (V12) ひきこもり支援と家族療法

日時：9月16日(土) 10:50-12:20

411室

金城理枝(弘前大学大学院) 田村毅(高山村こころの診療所)

---

## ② (V2) グループスーパーヴィジョンの経験

—家族療法を教え伝える, そして学び生かす—

412室

日時：9月16日(土) 10:50-12:20

石田匡宏(福岡大学医学部) 神谷俊介・星野俊弥(北里大学医学部精神科学)

渡辺俊之(渡辺医院/高崎西口精神療法研修室) 中村伸一(中村心理療法研究室)

---

## ③ (V5) 性的嗜癖行動と家族へのアプローチ

日時：9月16日(土) 10:50-12:20

413室

吉田卓矢・井上滉太・久持修(やまき心理臨床オフィス)

八巻秀(駒澤大学・SYプラクティス)

---

## ④ (V9) 養護教諭とスクールカウンセラーの効果的な連携・協働について考える

—家族療法GSV・原家族ワーク主催者・参加者の立場から—

413室

日時：9月16日(土) 14:40-16:10

岩崎和子(北海道教育大学) 大宮宗一郎(上越教育大学)

佐藤牧子(東京学芸大学附属小金井小学校) 田村毅(高山村こころの診療所)

渡辺俊之(渡辺医院/高崎西口精神療法研修室)

---

## ⑤ (V4) 発達障害児・者と家族への支援の可能性

日時：9月16日(土) 16:20-17:50

413室

中野真也(国際医療福祉大学) 東村剛志(一般社団法人 明日へのつむぎ/つむぎ

塾) 盛永政和(大和大学白鳳短期大学部/一般社団法人LITTO-LABO)

---

## ⑥ (V8) 「人としてのセラピスト養成モデル(Person of the therapist (POTT) training model)」が日本のセラピスト養成に何をもたらすのか

—翻訳プロセスから見えてきた意義と課題—

413室

日時：9月17日(日) 9:10-10:40

福井里江(東京学芸大学教育心理学講座) 小笠原知子(金沢大学国際基幹教育院)

辻井弘美(国立成育医療研究センター) 大森美湖(東京学芸大学保健管理センター)

---

## ⑦ (V3) PTMF(パワー,脅威,意味のフレームワーク)

日時：9月17日(日) 10:50-12:20

413室

白木孝二(Nagoya Connect & Share) 植村太郎(神戸労災病院)

田中ひな子(原宿カウンセリングセンター) 長沼葉月(東京都立大学)

---

**⑧ (V1) 学校教員と児童精神医師との連携**

411室

日時：9月17日（日）13：30－15：00

小笹祥子（公立小学校）清田晃生（大分療育センター）神谷俊介（北里大学附属病院）  
川窪公夫（公立中学校）川合利枝（公立小学校）宮戸和哉（公立小学校）  
松原英司（公立小学校）大宮宗一郎（上越教育大学）田村毅（高山村こころの診療所）

---

**⑨ (V7) 緩和ケア病棟のナラティブ的変容**

412室

**—家族の変容から病棟全体への変容へ—**

日時：9月17日（日）13：30－15：00

田代順（ナラティブ・アプローチ研究室）大西郁子（東京成徳大学）  
西澤有喜子（NPO法人碧き里の水）

---

**⑩ (V10) 困難を抱える子どもと家族を地域で支えるラップアラウンドの  
実装に向けて —当事者を中心にしたチームづくり—**

413室

日時：9月17日（日）13：30－15：00

久保樹里（日本福祉大学）菅野道英（そだちと臨床研究会）  
三木馨（西日本こども研修センターあかし）吉村拓美（京都府宇治児童相談所京田辺支部）

---

**⑪ (V6) 学校はブラックな職場なのか？**

411室

**—バーンアウトの危機を乗り越えるために—**

日時：9月17日（日）15：40－17：10

高橋候輔（東京都特別支援教室巡回心理士）川窪公夫（公立中学校）  
布施裕美子（公立小学校）宮戸和哉（公立小学校）宮本茜（公立中学校）  
小笹祥子（公立小学校）大井雄一（澁谷川診療所）

---

**⑫ (V11) 家族療法の多様な学びと臨床家としてのナラティブ**

413室

**—システム・SFAからオープンダイアログまで—**

日時：9月17日（日）15：40－17：10

浅井伸彦（一般社団法人国際心理支援協会）八巻秀（駒澤大学／SYプラクティス）  
白木孝二（Nagoya Connect & Share）

---

## 9月18日（祝） ワークショップ

### WS① 家族療法入門

【講師】 東豊（龍谷大学）

【会場】 402+403室

### WS② ロールプレイによる家族面接演習

【講師】 中村伸一（中村心理療法研究室）北島歩美（日本女子大学）

宮崎愛（児童家庭支援センターバラソル）岩井昌也（錦糸町クボタクリニック）

【会場】 411室

### WS③ 保護者支援と教職員支援の実践的演習

#### ーシステムズ・コンサルテーションを身につける

【講師】 吉川悟（龍谷大学）

【会場】 502室

### WS④ うまくいかなかった二人に取り組むナラティブ・アプローチ

【講師】 国重浩一（ナラティブ実践協働研究センター）

【会場】 405+406室

### WS⑤ BPSモデルのケースマネジメントー家族のアセスメントを支援に活かす

【講師】 近藤直司（大正大学）

【会場】 401室

### WS⑥ ソーシャルワークと家族療法

【講師】 福山和女（ルーテル学院大学）

【会場】 412室

### WS⑦ 児童虐待対応ー家族療法を応用すると何が起きるのか

【講師】 中垣真通（子どもの虹情報研修センター）三木馨（西日本こども研修センターあかし）

加藤俊造（新潟県南魚沼児童相談所）山中博喜（静岡県中央相談所）

【会場】 503室

### WS⑧ 在宅医療における家族支援

【講師】 若林英樹（三重大学総合診療部／名張地域医療学講座）

宮本佑達（ひまわりクリニック／名古屋大学大学院医学系研究科博士課程）

山田宇以（聖路加国際病院心療内科）

永嶋有希子（弓削メディカルクリニック／滋賀家庭医療学センター）

渡辺俊之（渡辺医院／高崎西口精神療法研究室）

【会場】 404室

# 一般社団法人 日本家族療法学会 第40回福岡大会

大会長	児島達美 (KPCL)
副大会長	加来洋一 (長崎県長崎こども・女性・障害者支援センター)
実行委員長	吉里恒昭 (一般社団法人DMW)
実行委員	近藤進 (藤川メディケアクリニック)
実行委員	田崎みどり (長崎純心大学)
実行委員	松島淳 (佐賀大学医学部 精神医学講座)
協力委員	伊藤勢津子 (長崎県立大学相談室)
協力委員	江越香菜 (福岡県教育委員会スクールカウンセラー)
協力委員	岡嶋さやか (西九州大学 学生相談室)
協力委員	金子周平 (九州大学)
協力委員	唐津 尚子 (北浜心理臨床オフィス/カウンセリングスペース Calm)
協力委員	木住野美香 (長崎日本大学高等学校)
協力委員	阪幸江 (こころとからだのつながり相談室みらい)
協力委員	高木梨衣 (医療法人友愛会 田川療養所)
協力委員	田中惇恵 (佐賀県スクールカウンセラー)
協力委員	中富尚宏 (九州産業大学)
協力委員	中村昌広 (九州産業大学学生相談室)
協力委員	藤永亜津沙 (児童養護施設 浦上養育院)
協力委員	光富有美 (福岡市役所)
協力委員	吉岡朋実 (医療法人清潮会 さんクリニック)

編 集 一般社団法人 日本家族療法学会 第40回福岡大会事務局  
大会事務局 〒819-0005 福岡市西区内浜2-19-18-301 (KPCL内)

---

## ◆ 共同企画団体 ◆ (順不同)

日本ブリーフサイコセラピー学会  
心理教育・家族教室ネットワーク

## ◆ 運営協力団体 ◆ (順不同)

一般財団法人福岡コンベンションセンター  
株式会社福岡市民ホールサービス  
株式会社JTB 福岡支店  
株式会社テノ. コーポレーション

◆◆ 特別協賛 ◆◆

九州大学医学部心療内科同門会

上記の団体様から助成金をいただいています。

◆◆ 協賛広告掲載企業様・団体様一覧 (順不同) ◆◆

株式会社金剛出版

株式会社遠見書房

株式会社有斐閣

株式会社北大路書房

福岡徳洲会病院

まつばら心療内科

新飯塚診療所

坂西医院 内科・小児科

有吉祐睡眠クリニック

一般社団法人国際心理支援協会

一般社団法人DMW

精神療法 [増刊第10号] 北西憲二・西村馨=編

グループで日常臨床を変える ささまざまな場面での活用術 B5判/定価3,080円

臨床心理学 [増刊15号] 大嶋栄子・信田さよ子=編

あたらしいジェンダースタディーズ 転換期を読み解く B5判/定価2,640円

ことばは、手のようである。  
トム・アンデルセン  
会話哲学の軌跡  
リフレクティング・チームからリフレクティング・プロセスへ  
矢原隆行 [著・訳] トム・アンデルセン [著]



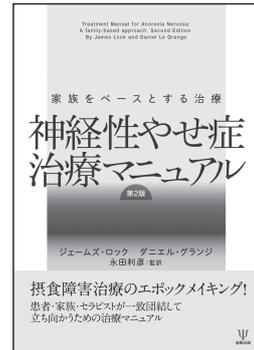
四六判/定価3,080円

ケアする人たち、すべてへ。  
ふつうの相談  
東畑開人 [著]



四六判/定価2,420円

摂食障害治療のエポックメイキング!  
神経性やせ症  
治療マニュアル [第2版]  
家族をベースとする治療  
ジェームズ・ロック / ダニエル・グランジ [著] 永田利彦 [監訳]



A5判/定価4,620円

中井久夫=著 高宜良=編 中井久夫 拾遺 四六判/定価3,960円

平島奈津子=著 <効果的な>精神科面接 力動的に診るということ 四六判/定価3,520円

池淵恵美=著 統合失調症の個人面接ガイドブック 四六判/定価3,300円

ニコラウス・カザンツィスほか=著 坂野雄二・青木俊太郎=監訳  
認知行動療法と治療関係 臨床家のためのガイドブック B5判/定価4,620円

岩壁茂・遠藤利彦・黒木俊秀・中嶋義文・中村知靖・橋本和明・増沢高・村瀬嘉代子=編  
臨床心理学スタンダードテキスト B5判/定価16,500円

各種オンラインイベント



アーカイブ  
配信中!

〒112-0005 東京都文京区水道1-5-16 / tel.03-3815-6661 / fax.03-3818-6848  
https://www.kongoshuppan.co.jp  
(定価は10%税込です)

臨床心理学・精神医学の専門書出版  
**Ψ 金剛出版**

**「かかわり」の心理臨床**  
 催眠臨床・家族療法・ブリーフセラピーにおける関係性 (駒沢大) 八巻 秀著  
 アドラー心理学, 家族療法, ブリーフセラピー, 催眠療法を軸に臨床活動を続ける著者による論文集。関係性や対話的な「かかわり」をキーワードに理論と実践を解説。  
 3,080 円, A5 並

**喪失のころと支援**  
 悲嘆のナラティブとレジリエンス  
 (日本福祉大学教授) 山口智子編  
 「喪失と回復」の単線的な物語からこぼれ落ちる, 喪失の様相に, 母子, 障害, 貧困, 犯罪被害者, HIV など多様なケースを通して迫った 1 冊。喪失について丁寧に考え抜くために。2,860 円, A5 並

**新システムズアプローチの〈もの見方〉**  
 家族療法の実践 (仮)  
 (龍谷大学教授) 吉川 悟著  
 家族療法, ブリーフセラピー, ナラティブ・アプローチの実践・研究をへたどりついた新しい臨床の地平がここにある。名著『家族療法』を再構築した吉川臨床の最新基準。  
 4,400 円 (仮), A5 並

**図解 ケースで学ぶ家族療法**  
 システムとナラティブの見立てと介入  
 (徳島大学准教授) 横谷謙次著  
 カップルや家族の間で展開されている人間関係や悪循環を図にし, どう働きかけたらよいかがわかる実践入門書。家族療法を取り入れたい, 取り組みたいセラピストにも最適。2,970 円, 四六並

**あたらしい日本の心理療法**  
 臨床知の発見と一般化  
 池見 陽・浅井伸彦 編  
 本書は, 近年, 日本で生まれた 9 アプローチのオリジナルな心理療法を集め, その創始者たちによって, 事例も交えながらじっくりと理論と方法を解説してもらったものです。3,520 円, A5 並

**ポリヴェーガル理論で実践する子ども支援**  
 今日から保護者・教師・養護教諭・SC がとりくめること  
 (いとう発達・心理相談室) 伊藤二三郎著  
 ブックレット: 子どもの心と学校臨床 (6) ポリヴェーガル理論で家庭や学校で健やかにすごそう! 教室やスクールカウンセリングで, ノウハウ満載の役立つ 1 冊です。  
 1,980 円, A5 並

# シンリンラボ

Clinical Psychology Laboratory

<https://shinrinlab.com>

編集委員 伊藤弥生・岩宮恵子・岡村達也・神村栄一・津川律子・森岡正芳  
 臨床心理学・心理療法・心理支援に携わるすべての人のための総合情報オンライン・マガジンがスタート。連載=岡野憲一郎・中垣真通・沢宮容子・佐藤洋輔ほか

心と社会の  
 学術出版   
**遠見書房**

〒181-0001 東京都三鷹市井の頭2-28-16  
 TEL 0422-26-6711/FAX 050-3488-3894  
<http://tomishobo.com> [tomi@tomishobo.com](mailto:tomi@tomishobo.com)

全国主要書店で  
 販売しております。

小社メールマガジンの購読をご希望の方は, [mailmagazine@tomishobo.com](mailto:mailmagazine@tomishobo.com)へ空メールを

## 臨床心理学中事典

野島一彦監修  
 650 超の項目, 260 人超の執筆, 3 万超の索引項目からなる臨床心理学と学際領域の中項目主義の用語事典。臨床家・研究者必携!  
 7,480 円, A5 上製



# 有斐閣 出版案内

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17

<https://www.yuhikaku.co.jp>

(表示価格は税込です)

## これからの障害心理学

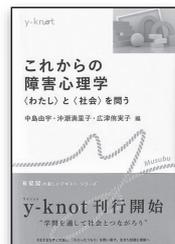
「わたし」と「社会」を問う

中島由宇・沖潮満里子・広津侑実子 編

新テキストシリーズ y-knot 定価 2200 円

様々な当事者たちの声を集めた、「わかったつもり」を揺さぶり、「何かが変わる」につながるテキスト。ツール(Quiz, エクササイズ等)やウェブサポートも充実。[公認心理師カリキュラム対応]

2023年3月刊



## 家族心理学

第2版

家族システムの発達と臨床的援助

中釜洋子・野末武義・布柴靖枝・無藤清子 編

有斐閣ブックス 定価 2750 円

定番テキストを全面改訂。新規の第12章では家族支援の観点から発達障害を解説。家族問題を多角的に分析し「家族」についての心理学的な知をさらに深められる内容に。

2019年刊



## 心理職・援助職のための法と臨床

家族・学校・職場を支える基礎知識

廣井亮一・中川利彦・児島達美・水町勇一郎 著

A5判 定価 2750 円

現場(家庭・学校・職場)が依拠する法律・行政サービス等の知識や考え方を備えておくことは、最適な支援を行う上で必須の条件である。事例をもとに対応の実際を丁寧に解説。



2019年刊

# 北大路書房

〒603-8303 京都市北区紫野十二坊町12-8

☎075-431-0361 FAX 075-431-9393

<https://www.kitaohji.com>(価格税込)

## 社会構成主義の地平 **ナラティブ・セラピー入門**<sup>(仮題)</sup>

M. ペイン著 横山克貴, バーナード紫, 国重浩一訳  
A5・392頁・定価4180円 本書はクライアントの複雑な経験の語りを促すナラティブ・カウンセリングの入門書である。理論や実践の解説にとどまらず、著者独自の治療的文書の取り組みや、苦闘の軌跡を描く。ナラティブの実践事例を通して、セラピストの多様な在り方を学ぶ。

## 社会構成主義の地平 **カップル・カウンセリング入門**

—関係修復のための実践ガイド— M. ペイン著 国重浩一他訳 A5・308頁・定価3960円 カップルの「二つの視点」の間で複雑な関係におかれるセッションをどう構造化するのか、性的な問題、暴力・虐待といった「固有の問題」を取り上げて実践的に解説する。社会文化的な影響を探究し、カップル自らが「物語」のよう導くセラピーを展開。

## はじめての家族療法

—クライアントとその関係者を支援するすべての人へ— 浅井伸彦編著 坂本真佐哉監修 A5・208頁・定価3080円 家族療法の考え方や理論、背景、技法を概括的に捉えられる入門書。カップルカウンセリングやジェノグラムの実践、さらには家族支援にも役立つ書。オープンダイアログなど、発展し続けるセラピーの〈多様性〉を紹介。

## 代替行動の臨床実践ガイド

—「ついやってしまう」「やめられない」の〈やり方〉を変えるカウンセリング— 横光健吾, 入江智也, 田中恒彦編 A5・272頁・定価3080円 夜更かし、ギャンブル、飲酒、風俗通い、リストカット、家族間のコミュニケーション不全……。問題行動を減らし「望ましい行動」を増やすためのノウハウを紹介。

## Journey with Narrative Therapy **ナラティブ・セラピー・ワークショップ Book II**

—会話と外在化, 再著述を深める— 国重浩一編著 日本キャリア開発研究センター編集協力 A5・388頁・定価3960円 ナラティブ・セラピーにおいて外在化と再著述はなぜ重要なのか。「人=問題」にしない質問法や「問題のある風景」を変える会話法の実践を解説。エイジェンシーが発揮されるナラティブへ。

## Journey with Narrative Therapy **ナラティブ・セラピー・ワークショップ Book I**

—基礎知識と背景概念を知る— 国重浩一著 日本キャリア開発研究センター編集協力 A5・312頁・定価3080円 熟練ナラティブ・セラピストによるワークショップを再現するシリーズ第一弾。基本的知識や背景をわかりやすく初学者に向け解説。ワークによる実践の具体例やデモも一部掲載し、参加者の声も多数紹介。

## 〈ふれる〉で拓くケア **タッピングタッチ**

中川一郎編著 A5・272頁・定価3300円 ゆっくりやさしく〈ふれる〉ことが生み出す癒し、気づき、関係性への働きかけ。誰でも簡単にできるホリスティック(統合的)なケアの魅力を、心理、教育、医療、看護、福祉など対人支援の現場で活躍する専門家たちが豊富な事例で語る。

## 忙しいお母さんとお父さんのための **マインドフルペアレンティング**

—子どもと自分を癒し、絆を強める子育てガイド— S. ボーゲルズ著 戸部浩美訳 四六・264頁・定価2750円 忙しくストレスフルな日常を過ごす親が、子どもといながらできる瞑想エクササイズを豊富に紹介。心理学者の著者が自らの子育てや親との実体験に触れながら、マインドフルネスを解説する。DL音声付。

### シリーズ **臨床心理学**

太田信夫監修/高橋美保, 下山晴彦編集 定価2200円

### **マインドフルネスストレス低減法**

J. カバットジン著/春木 豊訳 定価2420円

### **ナラティブ・セラピーのダイアログ**

国重浩一, 横山克貴編著 定価3960円

### 公認心理師 **標準テキスト 心理学的支援法**

杉原保史, 福島哲夫, 東 斉彰編著 定価2970円

### **レベルアップしたい実践者のための事例で学ぶ認知行動療法テクニックガイド**

鈴木伸一, 神村栄一著 定価2530円

### **ナラティブ・メディスンの原理と実践**

R. シャロン他著/斎藤清二他訳 定価6600円

### 心理学ベーシック **なるほど! 心理学面接法**

三浦麻子監修/米山直樹, 佐藤 寛編著 定価2640円

### **愛着関係とメンタライジングによるトラウマ治療**

J. G. アレン著/上地雄一郎, 神谷真由美訳 定価4180円

### **グラフィック・メディスン・マニフェスト**

MK. サーウィック他著/小森康永他訳 定価4400円

心療内科では患者さんと家族の健康、幸せのため

ストレス関連内科疾患、心身症、摂食障害などの治療を行っています。



- 厚生労働省臨床研修指定病院
- 外国医師臨床修練指定病院
- 地域医療支援病院
- 災害拠点病院
- 日本医療機能評価機構認定病院
- JCI 認証病院

院長 乗富 智明

心療内科・内分泌・糖尿病内科 部長 原 健

部長 山下 真

顧問 松林 直



[住所] 〒816-0864

福岡県春日市須玖北 4 丁目 5 番地

[TEL] 092-573-6622

[FAX] 092-573-1733



# まつばら心療内科

## ご挨拶

R3年6月の開業以来千人以上の方に御受診頂いています。お子さんからお年寄りまで対応する中、地域柄8割以上はビジネスパーソンのご相談を承っています。心身医学と精神医学の両方に精通し、催眠療法・家族療法を学んできた医師だからこそ提供出来るセラピーがあると考え、地域医療に貢献出来るよう努めております。



院長 松原 慎



## 当院の特徴



心療内科と精神科の資格を併せ持つ  
 医師による、悩みのよろず相談所です。  
 心理検査・カウンセリングも完備。  
 地域の皆様から信頼される医院を目指しています。

- 家族療法
- ト라우マも対応
- 心療内科の専門医
- 精神科OK
- 丁寧な心理検査
- 高度な心理療法



### 診療科目

心療内科・精神科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	●
14:00~17:00	●	●	▲	●	●	●	●

▲ 予約専門外来 【休診日】土曜・日曜・祝日

〒810-0045 福岡市中央区草香江2丁目1-6 4階

<https://matsubara-cl.com> 六本松まつばら心療内科

092-739-5060



## 夕陽の見える 喫茶店で聴く 松原慎オカリナコンサート

- ① 2023年10月29日(日)
  - ② 2024年01月08日(日)
- start 17:00~(open 16:30)



@田園喫茶ワイルドベリー

〒819-1572 福岡県糸島市末永541  
 ticket ¥1000(ケーキセット付)  
 ご予約・お問合せ：092-331-5705



患者様に寄り添う心温まる診療所をめざして  
います。訪問診療・訪問リハビリのご相談も  
承ります。

福岡医療団  
FUKUOKA IRYO DAN



## 新飯塚診療所

内科・訪問診療・訪問リハビリ

飯塚市柏の森946-6

T E L 0948-22-2680

F A X 0948-24-0939

e-mail [clnc-shiniizuka@fid.jp](mailto:clnc-shiniizuka@fid.jp)



## 坂西医院

内科・小児科

院長  
内科  
小児科

坂西 信映  
坂西 雄太  
坂西 信平

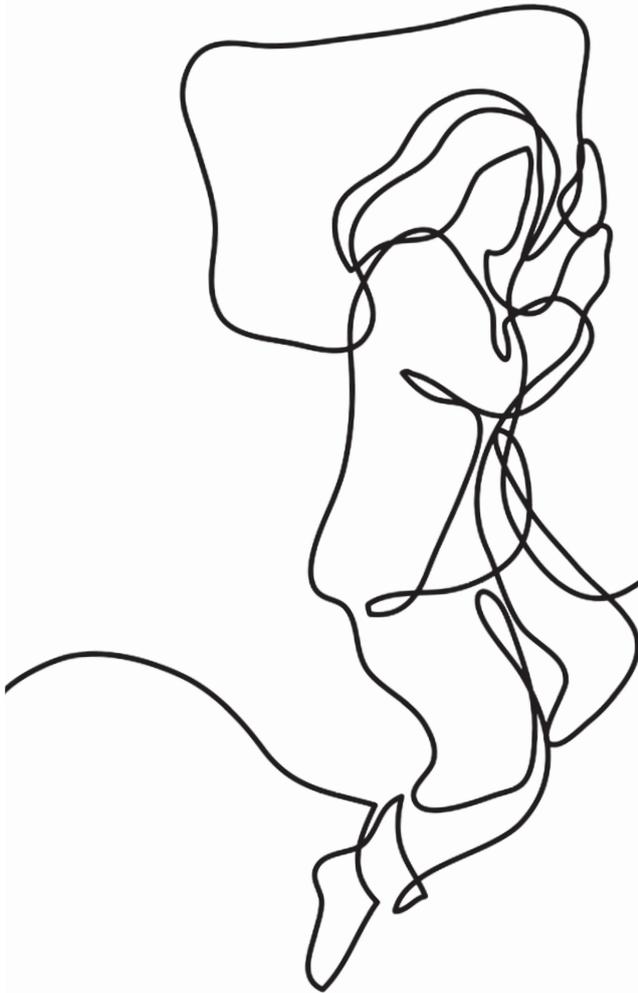


Tel: 0944-52-2025

Fax: 0944-52-2025



Sleep Clinic



In sleeping, one grows,  
nurses one's mind,  
and regains one's humanity.

<http://www.you-sleepclinic.com>

●睡眠時無呼吸症候群 ●不眠症・過眠症 ●いびき等の検査・治療 ●カウンセリング

医療法人 眠りところのYOUクリニック 日本睡眠学会認定医療施設

**有吉祐睡眠クリニック**

〒802-0084 北九州市小倉北区香春口1丁目13-1メディックス三萩野2F TEL.(093)921-4133 FAX.(093)921-9933



# 心理支援の研修動画サブスクリプション

毎月増えていく魅力的な多数の研修動画（月額たったの1,980円 [スタンダードプラン]）  
※大学など団体でお申し込みの場合は、さらに法人割引もご相談いただけます。

臨床心理士ポイント申請研修を年に3回以上開催（登録者無料）

心理検査等アセスメント研修を年に3回以上開催

（登録者のみ。申込多数の場合は抽選、別途有料）



ほか

講師名(敬称略、順不同):

浅井伸彦(国際心理支援協会, 家族療法, オープンダイアログ等)	藤本昌樹(東京未来大学, ボディコネクトセラピー)
池見陽(関西大学, フォーカシング)	嶺輝子(アースシーヒーリングセラピー, ホログラフィートーク)
坂本真佐哉(神戸松蔭女子学院大学, ナラティブセラピー)	岩井圭司(大阪人間科学大学, 兵庫教育大学, 精神医学・向精神薬)
八巻秀(駒澤大学, システムズアプローチ・アドラー心理学)	
白木孝二(Nagoya Connect and Share, アンティンペーション)	

ほか多数。今後も講師は依頼予定

ホログラフィートーク



オープンダイアログ



家族療法



ボディ・コネクト・セラピー



左記面接画像は Platzl(<https://cp-information.com>) より

## 今後開催予定の臨床心理士ポイント申請研修

セルフ・コンパッション～理論と実践テクニックの紹介～

日時: 2023年11月25日11時～17時

検討中: 東洋医学とポリヴェーガル理論、心理職に知っておいてほしい向精神薬のこと  
家族療法入門講座、トラウマのプライマリケアほか

## 今後開催予定のアセスメント研修

シリーズ「心理検査、知能・発達検査を理解するための心理統計の基礎を学ぶ」

時期: 2023年7月28日、8月4日、8月18日 (いずれも19時～20時半、Zoomで実施)

検討中: WAIS-IV、WISC-Vの理論・施行・解釈編、トラウマケアのアセスメントほか

## 研修講師の執筆する著書（一部）



詳細はこちらからご確認ください⇒ <https://ipsa-study.net>





**DMW**  
Dis Medical Workshop

# 支援者を支援する

マインドフルネス  
ポリヴェーガル理論  
ブリーフセラピー  
ダイアローグ

